

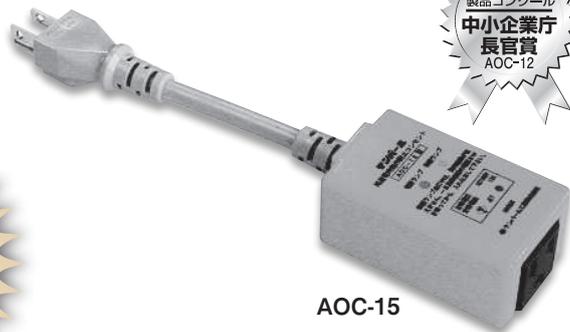
スイッチ見張り番

再通電保護プラグ

過負荷保護、短絡保護、漏電保護機能はありません

スイッチの切り忘れにより
電気機器が不意に動作することを防止します!

AOC-15

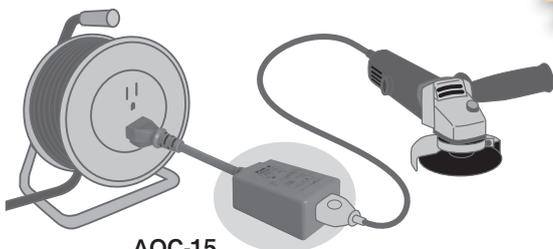


AOC-15

こんな危険はありませんか?

- 電気機器のプラグが抜けた後の再接続
- ブレーカが動作した後の再投入
- 地震や落雷による停電後の復電

再通電時に、
電気機器が
不意に動作!



AOC-15

接続方法

電源コンセントと電気機器のプラグの間に接続して使います。

- 機器1台につき1台使用してください。
- 電気機器は本器に直接接続して使用してください。

特長と機能

- 電気機器のスイッチがONの状態プラグをコンセントに差し込んだ場合、赤ランプが点灯し電気機器が動作することを防止します。
- 停電後の復電時に電気機器のスイッチがONのままの場合、赤ランプが点灯し電気機器が動作することを防止します。

使用方法

電動工具を使った作業中に
停電し、急に復電すると…



1. 本器の電源側のプラグをコンセントに差し込んで使用してください。
(AC100V以外の電源には使用できません。)
2. コンセントにアース極のない場合は、市販の接地プラグアダプターを使ってアース極を使用してアース線にアース極に接続してご使用ください。
3. 本器の電源側のプラグをコンセントに差し込むと電源ランプ(緑)が点灯します。
4. 電気機器の電源スイッチがOFFであることを確認してから、本器の負荷側コンセントへ電気機器の電源プラグを差し込んでください。電気機器に電源が供給されて使用可能となります。
5. 以下の場合は、本器の電源ランプ(緑)とともに保護ランプ(赤)が点灯し電気機器への電源供給がストップします。
 - ① 電気機器の電源スイッチがON状態のまま、本器の負荷側コンセントへ電源プラグを差し込んだ場合。
 - ② 停電や分電盤のブレーカが動作して本器への電源供給がいったんストップし、電気機器の電源スイッチがON状態のまま本器への電源供給が復帰した場合。
 - ③ 本器の電源側プラグがコンセントから抜け、電気機器の電源スイッチがON状態のまま再び本器の電源側プラグをコンセントへ差し込んだ場合。
6. 保護ランプ(赤)が点灯して電気機器が使用できないときは、いったん電気機器の電源スイッチをOFFにしてから再度ONにすると保護ランプが消え電気機器が使用できるようになります。

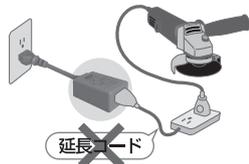
次のような使用方法は、絶対にしないでください。機器が動作して危険です。(誤った使用例)



延長コード禁止

延長コードは使用しないでください。

本器の負荷側に延長コードを使用して、その先に電源スイッチがONの機器の電源プラグを接続すると、機器が起動して危険です。



延長コード



タップ禁止

タップは使用しないでください。

本器の負荷側にコンセント分岐用のタップを使用して、その先に電源スイッチがONの機器の電源プラグを接続すると、機器が起動して危険です。



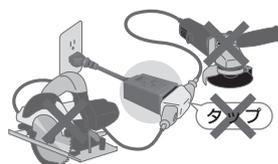
タップ



複数台接続禁止

機器は複数台接続して使用しないでください。

延長コードやタップを使用して電気機器を2台以上接続して使用しないでください。複数台接続すると保護機能が働かせません。



タップ



変形プラグ禁止

機器の電源プラグが変形したものは使用しないでください。

変形した電源プラグを差し込むと本器の不要動作感知機能が働かず、機器が起動することがあり危険です。

刃の部分が曲がったプラグ、刃の部分が欠けて短くなったプラグなどの変形したり破損しているプラグは使用しないでください。